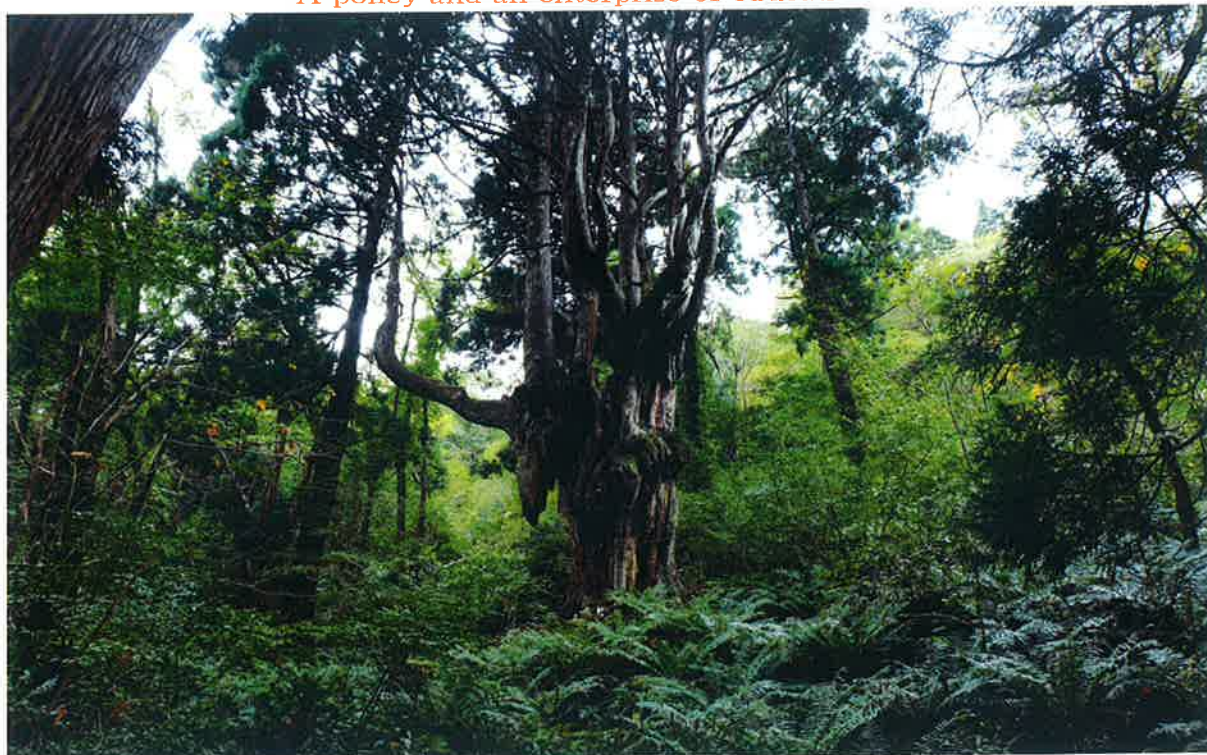


平成29年度
教育の方針と事業
〔教育要覧〕

A policy and an enterprise of education



巖かな佇まいの乳房杉・布施

隠岐の島町教育委員会



〒685-0022

島根県隠岐郡隠岐の島町今津346番地2

TEL:08512-2-2206・2095・2126

FAX:08512-2-0619

目 次

I. 隠岐の島町の教育推進にあたって	1
II. 隠岐の島町の概要	
(1) 町 勢	3
(2) 島の位置等	4
(3) 歴 史	4
(4) 「新たなまちづくり」	5
III. 方針	
1. 学校教育行政の方針	6
2. 社会教育行政の方針	9
3. 公民館運営の方針	12
4. 図書館運営の方針	14
5. 学校給食センター運営の方針	16
IV. 事業計画	
1. 総務事業計画	18
2. 学校教育事業計画	19
3. 社会教育事業計画	24
4. 公民館事業計画	31
5. 図書館事業計画	35
V. 指定文化財、各種委員名簿	
1. 隠岐の島町の指定文化財	39
2. 隠岐の島町教育委員会の各委員	
教育委員会委員	43
社会教育委員	44
文化財保護審議会委員	44

スポーツ推進審議会委員	45
屋内温水プール管理運営委員会委員	45
図書館運営委員会委員	46
総合体育館管理運営委員	46
スポーツ推進委員	47
公民館運営審議会委員	48
学校給食センター運営委員会委員	49

VI. 組織、予算等

1. 隠岐の島町教育委員会機構図	50
2. 隠岐の島町教育委員会職員配置図	51
3. 隠岐の島町学校給食施設状況	52
4. 隠岐の島町立小・中学校一覧表	53
5. 児童・生徒数の推移	54
6. 平成28年度教育予算の概要	55

I. 隠岐の島町の教育推進にあたって

～ 布施の『立志式』から ～

教 育 長 村 尾 秀 信

2月の初旬、布施地区の伝統行事『立志式』に出向きました。この地で育つ2名の中学2年生が参加していました。その中の一人の決意表明が私の心を惹きました。

彼は「隠岐はいい所です。このまま島の人たちと楽しく暮らしていきたいです。でも、僕は将来、島を出て暮らそうと思います。なぜならば、今僕には将来の自分の姿がまったく浮かばないからです。夢もないし、憧れる職業もありません。だから、一度島を離れ、日本という国を見て、自分は何をしたいのかを見極めたいのです。そして将来僕は自分のしたい仕事を見つけ職に就き、胸を張って隠岐に帰ってきて、今ここにいる父親に自慢したいです。」と語りました。

それに対して彼の父親は「あっという間の14年に感じる。自分の身勝手に寂しい思いをさせたこともあつただろう。(中略)じいちゃんやばあちゃん始め、多くの人々の支えにとっても感謝している。これから先、夢に向かって進んでいける人になって欲しいと思う。頼りない父だが、いつでも支えになるけんな。応援するよ。」と応えました。

迷いの中にもありながらも自分の将来の道を探ろうとする少年のひたむきな心と、ここまでその少年を慈しみ、これからも応援していくよという飾り気のない親の心情が溢れていました。親子のさわやかな心の交流を見させてもらいました。また、立志式全体の風景からは、この少年らの成長の陰には、家庭や学校、地域社会の温かい育みがあつたことも感じられました。一人の公民館職員の思いが他の人々の共感を呼び始めた布施の立志式が、42回を数えるまでになり、布施の教育文化として根付いていることを確認でき、うれしく思いました。

また、管内各小中学校においても従来から取り組まれているふるさと教育は、本町の特色ある学校教育活動として高く評価されています。1月に行われた「子ども議会」では、中学3年生が未来の隠岐を考える様々な提案をし、関係者や多くの町民の共感を呼んだことも目にする事ができました。「隠岐びとを育てる」というねらいのもとに、子どもたちと先生方の共同作業として取り組んでもらっているふるさと学習も、その成果が少しずつ目に見える形で現れつつあります。

私は、この町に暮らす子どもたちには、「やさしい心とかしこい知恵とたくましい体」を持った人に育って欲しいと願っております。この3つの力が、将来を生きていく子どもたちの大きな礎になるものと考えております。子どもも大人も一緒だと思っておりますが、人はいつの時代にあっても、その時々「時代からの挑戦」を受けて生きています。それぞれのライフステージや変化の激しい社会に適応するため、新しい考えや技術を獲得するなどし、絶えず「学び」を続けながら生きています。それは人の普段の姿であり、人がより良く生きるための必要不可欠な術として「学ぶこと」があると私は考えております。学習グループや地域社会についても、同じような考えを持っており、地域社会が全体として「やさしい心とかしこい知恵とたくましい体」を培って欲しいと願っており、このような考え方を基にして教育行政を行っていきたいと思っております。

立志式や子ども議会など、様々に取り組まれている教育活動や教育文化を創造するような営みへの支援をはじめ、家庭教育、学校教育、社会教育それぞれの分野で豊かな学習、教育活動が行われ、すべての人に等しく学びの場や機会が開かれ、生涯を通じ学び続けたり、学び直しができるまちづくりを目指して、教育行政の推進に当たりたいと考えています。

II. 隠岐の島町の概要

A policy and an enterprise of education



町勢
島の位置等
歴史
「新たなまちづくり」

毎年1月15日に行われる「今津のとんど」

Ⅱ. 隠岐の島町の概要

(1) 町勢

町制施行	平成16年10月1日
面積	242.83km ²
地域指定	離島・過疎・辺地・農振・都市計画

人口 (世帯, 人, %)

	世帯数	人口	男	女	高齢者比率
S60年 国勢調査	6,571	19,675	9,426	10,249	18.62
H2年 国勢調査	6,633	19,090	9,133	9,957	21.47
H7年 国勢調査	6,755	18,367	8,747	9,620	25.25
H12年 国勢調査	6,968	18,045	8,661	9,384	28.38
H17年 国勢調査	6,784	16,904	8,029	8,875	31.22
H22年 国勢調査	6,468	15,521	7,380	8,141	33.90
H27年 国勢調査	6,250	14,608	7,019	7,589	38.08

産業人口 (人, %)

	H12年国勢調査	H17年国勢調査	H22年国勢調査	H27年国勢調査
第1次産業	1,155 (13.16)	1,119 (13.62)	967 (13.45)	786 (11.66)
第2次産業	2,003 (22.82)	1,617 (19.69)	1,226 (17.06)	1,115 (16.54)
第3次産業	5,619 (64.02)	5,477 (66.69)	4,994 (69.49)	4,840 (71.80)
計	8,777 (100.0)	8,213 (100.0)	7,187 (100.0)	6,741 (100.0)

参考 隠岐郡町村の構成

隠岐島は3町1村で組織、隠岐郡を構成 (km², 人)

地区	島名	町村名	面積	人口
島後	島後	隠岐の島町	242.83	14,561
島前	中ノ島	海士町	33.43	2,298
	西ノ島	西ノ島町	55.96	2,896
	知夫里島	知夫村	13.70	607
計			345.92	20,354

[参考] 島根県 19市町村 (8市10町1村)

(2) 島の位置等

隠岐の島町が位置する島後は、島根半島の北東約 67 k m の海上に位置し、隠岐諸島中最大の島です。島の面積は 242.83 k m² (琵琶湖の約 36%) で、その約 80% を森林が占めています。外周道路の総延長は約 75 k m です。また、隠岐島の北西約 158 k m には竹島があり、隠岐の島町に属しています。

島はほぼ円形に近い火山島で、隠岐の最高峰大満寺山 (だいまんじさん) 608 m を中心に、500 m 級の山々が連なり、これに源を発する八尾川 (やびがわ)、重栖川 (おもすがわ) 流域に平地が開けています。周辺の海岸全域は、大山隠岐国立公園に指定され、雄大な海洋風景や急峻な山並み等が風光明媚な景観を醸し出しています。

【竹島について】

竹島は、島根県隠岐郡隠岐の島町に属し、隠岐島の北西約 158 km、北緯 37 度 14 分、東経 131 度 52 分に位置し、東西の 2 主島と数十の岩礁から成り、その総面積は 0.20 平方キロメートルです。島は飲料水にも乏しく人の常住には適しません。島の周辺一帯は南からの対馬海流と北からのリマン海流がぶつかる「潮目」があり、魚介藻類の種類、数量ともに極めて豊富です。現在竹島は、わが国の主権が行使できない状態となっていますが、排他的経済水域 200 カイリ時代を迎えた今日、竹島周辺海域は、わが国にとって水産業の発展と水産資源の確保の観点から非常に大きな価値をもっているといえるでしょう。(Web 竹島問題研究所サイトより)



(3) 歴史

本町は、中国地方では唯一の黒曜石を産出する島で、旧石器から縄文時代にかけて、隠岐島産の黒曜石は、本土のみならず、朝鮮半島までにも流通されていたことが分かっています。

古代には、この島は流遠の地として定められ、それ以降、多くの人々が配流されました。小野篁、後醍醐天皇など都の貴人や文化人が伝えた文化と隠岐の風土が融合し、今に残る史跡や伝統芸能の中に、当時の名残を見ることができます。

近世に入ると、北前船の風待ち港として西郷港が利用され、港を中心とした西郷周辺は賑わうこととなります。「しげさ節」を代表とする隠岐民謡も多くが船方衆たちの出身地から隠岐に伝えられ、唄い継がれてきたものだと言われています。

幕末から明治へと時代が大きく動いた明治元年には、「隠岐騒動」が起こり、一時的ではありますが、島民の手による自治政府組織が樹立されました。

その後、鳥取県や島根県、あるいは「隠岐県」など、その帰属は変化してまいりましたが、明治9年に島根県の所属となり現在に至っています。

明治37年西郷町、東郷村、中条村、磯村、中村、布施村、五箇村、都万村の8町村が発足、昭和29年7月には、西郷町、東郷村、中条村、磯村の4町村が合併し、更に昭和35年11月中村を編入して西郷町となり、島後4町村の姿となりました。

地方分権が進む中で、平成16年10月に西郷町、布施村、五箇村、都万村の4町村合併により、「隠岐の島町」が誕生しました。



隠岐国分寺蓮華会舞

(4) 「新たなまちづくり」

島後の島がひとつの町となりスタートした本町は、島の再生を推進する『古きを活かした島の再生』と、島の役割や特殊性を前面に押し出して地域振興を図る『新しきに挑戦する島の新生』の2点をまちづくりの原点において各種施策・事業に取り組んできました。

これからのまちづくりは、町民主体で進めていくことが求められています。「まるい輪の中、心ゆき交う、やすらぎのまち」をまちの将来像に掲げ、ひとつのまるい輪（島）の中で、豊かで魅力あるまち、自立したまちを目指し、幅広い主体の参加・協働により、町民主体でまちづくりを進めていきます。

また、新しい町長が提唱する「隠岐の島に生まれてよかった」、「隠岐の島に住んでよかった」、「隠岐の島を訪れてよかった」、これら3つの『「よかった。」が響くまち隠岐の島』を実現するために、子育てが、働くことが、暮らしが、そして地域が楽しくなるまちづくりを目指して取り組んでいるところです。

【隠岐ユネスコ世界ジオパークの取組】

平成25年9月、隠岐諸島は、「世界ジオパーク」に認定され、その後、ユネスコの正式プログラムとなりました。

世界に認められたこの素晴らしい自然と貴重な文化遺産を積極的に活用したまちづくりを展開しています。



五箇地区・福浦トンネル

Ⅲ. 方針

A policy and an enterprise of education

- 学校教育行政の方針
- 社会教育行政の方針
- 公民館運営の方針
- 図書館運営の方針
- 学校給食センター運営の方針



大山神社「山祭り」・布施

Ⅲ-1 学校教育行政の方針

近年我が国は、都市部への人口集中による地方の過疎化が進む中で、少子高齢化の進行、情報化や国際化の進展と国際的な課題の増加、産業構造の変化、家庭環境の多様化と地域の教育力の変化、及び国の教育改革と地方分権の推進など社会が大きく変化してきております。また、家庭や地域の教育力が低下傾向にあるという課題や、個人が明確な目的意識を持ったり、何かに意欲的に取り組んだりすることが以前よりも難しくなりつつあることが指摘されております。

こうした状況の中で、本町の児童生徒は、素朴な心を持ち、家庭や学校、地域社会での生活を営んでおり、学習や運動に素直に取り組む姿勢が見受けられます。

また、学力向上対策事業の継続的な取り組み等により、確かな学力も身につけております。

一方で、学ぶ意欲や体力の低さ、SNS を含めたメディア接触に関わる生活習慣の乱れや、人間関係のトラブル等の課題もあり、教育の果たす役割はいっそう重要になると考えております。

学校教育については、生きる喜び、学ぶ楽しさを通して、一人一人の可能性を开花させ、社会の一員として自立して生きていくことができる子どもを学校・家庭・地域が連携して育むことを基本とした教育行政の推進に努めます。

第1は、「確かな学力を育む教育の推進」であります。子どもたち一人一人が主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、基礎的・基本的な知識・技能の習得はもとより、思考力・判断力・表現力等を培う教育を進めます。

第2は、「豊かな心と健やかな心身を育む教育の推進」であります。子どもたちに生命を大切に作る心や思いやりの心、公共心や規範意識などを育む教育を充実するとともに、健康の保持増進や体力の向上を図る教育を進めます。

第3は、「ふるさとへの愛着と誇りを育む教育の推進」であります。ふるさと教育副教材「ふるさと隠岐」の積極的活用をはじめ、ジオパークの学習を積極的に進め、ふるさとの自然・歴史・文化や人々の営みを理解することを通じ、ふるさとへの愛着と誇りを育む教育を推進します。

第4は、「子どもたちの学びを支える取組の推進」であります。問題を抱える児童生徒のニーズに対応するため、関係機関等との効果的なネットワークや早期の問題解決に向けた支援体制を整備するとともに、安心して過ごせる居場所づくりなど個々の実態に合わせた支援を行います。また、特別な支援が必要な子どもたちのために、一

人一人のニーズの把握とそれに応じた指導を細やかに行い、特別支援教育を推進します。

第5は、「教育環境の整備」であります。校舎や施設設備の整備を計画的に推進し、安全・安心な学校生活の実現に努めます。

第6は、「県立学校との連携推進」であります。生徒数の著しい減少が見込まれる中で、町内の県立学校と町行政、教育委員会をはじめ関係団体が連携することにより、県立学校の魅力増進と活力のある学校づくりを支援します。

【重点施策】

1. 確かな学力を育む教育の推進

- (1) 学力向上対策事業
- (2) 学校図書館充実事業
- (3) 英語指導事業（ALT派遣）
- (4) 教材整備事業
- (5) 各種研究指定事業

① 学校図書館活用教育研究事業

② 複式教育推進指定校事業

2. 豊かな心と健やかな心身を育む教育の推進

- (1) 各種検診事業

3. ふるさとへの愛着と誇りを育む教育の推進

- (1) ふるさと教育

① ふるさと教育副教材「ふるさと隠岐」の積極的活用

② 生涯学習課、公民館と連携したジオパーク学習の取組

4. 子どもたちの学びを支える取組の推進

- (1) 教育相談事業

① スクールソーシャルワーカー配置事業

② スクールカウンセラー配置事業

③ いじめ対応支援事業

④ 特別支援教育体制推進事業（相談支援チーム）

⑤ 就学相談（隠岐教育支援委員会）

⑥ 相談支援事業（子育てサポートファイル、子育て手帳）

- (2) 教育支援センター「スマイル」運営事業

- (3) 特別な支援のための支援員配置事業

- (4) にこにこサポート事業（県費負担非常勤講師配置）
 - (5) 特別支援コーディネーター配置事業
 - (6) 教育費関係補助事業
 - (7) 就学援助費・特別支援教育就学奨励費支給事業
 - (8) 修学旅行費補助事業
5. 教育環境の整備
- (1) 学校施設修繕
 - (2) 磯小学校屋外運動場整備事業
6. 県立学校との連携推進
- (1) 豪州交流支援事業
 - (2) 高校オープンスクール参加助成事業
 - (3) 高校学力向上助成事業
 - (4) 高校寮費及び孫留学等助成事業
 - (5) 部活動遠征費助成事業
 - (6) 高校研修旅行助成事業
 - (7) 高校魅力化コーディネーター配置事業

Ⅲ-2 社会教育行政の方針

今日、産業構造の変化、情報化社会の進展、価値観の多様化など、社会が大きく変化する中、地域における人のつながりが希薄化し、地縁組織による伝統的な地域コミュニティが失われつつあります。本町においても、過疎化や少子高齢化などにより、その傾向が表れ、地域に閉塞感が広がっています。

その一方で、特定の目的を持つ地域のグループや団体が登場し、その活動が活発化しています。

地域社会を取り巻く状況が変化した今、行政と地縁組織、民間のグループや団体などが相互に連携を図り、より良い地域づくりに向け取り組んでいくことが大切です。このような中、社会教育の重要性は益々高まっています。地域住民同士が学び合い、共に活動し合う相互学習活動により、教養の向上、健康の増進等を図るとともに、人と人との絆を深め、様々な地域の課題に向き合う力を育みます。

社会教育行政は、こうした学習活動が活発に行われるよう、その環境づくりを支援する役割を担っています。

本町では、現代の様々なニーズに応じた学習支援を行えるよう、社会教育推進体制を充実させるとともに、適切な学習情報と機会を提供し、住民一人ひとりが生き生きと学習できる環境を整備していきます。これにより、地域が抱える様々な課題に積極的に向き合うことのできる人材を育成し、学びの成果が豊かな地域づくりに活かされるよう、その支援をしていきます。

また、学校、家庭及び地域が連携協力し、地域全体で子どもたちの豊かで健やかな心身を育む体制づくりを支援するとともに、本町の豊かな自然環境や歴史文化を有効に活用し、ふるさとに愛着と誇りをもつ子供たちの育成を図ります。

本町には、ユネスコ世界ジオパークに認定された固有の自然環境、風土が育んだ独自の歴史を今に伝える貴重な文化財が数多く残っています。これらを適切に保護するとともに、まちづくりや研究活動のための基礎資料として活用されるよう、基礎情報の調査に努めます。また、調査により得た文化財の情報を活用し、この町がもつ歴史文化の独自性と保護の必要性を発信していきます。

【重点施策】

1. 社会教育の振興

- (1) 地域における社会教育実践者、社会教育担当職員の研修
- (2) 家庭、学校、地域の連携による青少年教育事業
- (3) 地域の資源や人材を活かしたふるさと教育の推進
- (4) 社会教育関係団体の育成及び活動支援
- (5) 人権・同和教育の推進
- (6) 指定管理者等との連携による教育文化施設の整備と有効活用

2. 社会体育の振興

- (1) 第二次スポーツ推進計画の策定
- (2) 生涯スポーツ推進のための人材育成
- (3) 社会体育関係団体の活動支援
 - ・全国大会出場助成事業の拡充
- (4) 社会体育施設の整備と有効活用
 - ・指定管理者等との連携による各種体育施設の活用促進
 - ・総合体育館の設備更新及びスポーツ器具整備
- (5) 障がい者スポーツの推進

3. 文化財の保護と活用

- (1) 文化財の保護
 - ・重要文化財建造物改修事業(玉若酢命神社本殿屋根葺替)
 - ・無形民俗文化財保存事業補助金交付事業
 - ・牛突き習俗保存対策事業
 - ・「隠岐の牛突き習俗」調査事業
 - ・古文書整理保存事業
 - ・文化財の指定促進
- (2) 文化財保護・活用の機運醸成及び普及啓発事業
 - ・文化財パンフレット作成事業
 - ・隠岐国分寺国史跡指定記念事業
- (3) 天然記念物の保護
 - ・天然記念物樹勢モニタリング事業

4. 図書館の管理と活用

- (1) 図書館振興計画の策定
- (2) 図書館施設の整備と利用促進
 - ・ 図書館空調設備更新事業
 - ・ 指定管理者等との連携による図書館の利用促進
- (3) 読書活動の普及推進
 - ・ 第二次子ども読書推進計画の策定

5. 文化芸術活動の普及推進

- (1) 教育文化振興財団、関係団体との連携による文化芸術公演等鑑賞機会の提供
- (2) 各種文化芸術活動に対する支援
 - ・ 歴史文化保存活用団体支援事業

Ⅲ-3 公民館運営の方針

隠岐の島町立公民館は、各地区に分館体制を整備し、地域の生涯学習の場として中心的役割を果たしてきました。

今日、急速に進む少子・高齢化、情報技術の進展などにより、地域を取り巻く社会環境が大きく変化する中で、人間関係の希薄化や次世代を担う子どもたちの育成をはじめとした地域の諸課題の解決に向けた取り組みが急務となっています。

本町では、平成28年3月に策定された隠岐の島町教育大綱の基本目標のもと、地域住民の生きがいを見出すための講座や教室の拡充などの生涯学習の推進や、学校・家庭・地域と連携を図りながら、青少年育成の推進に努めます。さらに、地域が抱える課題に対応し、地域力を高める人材や団体の育成を図り、学びの成果が地域づくりに活かされる公民館活動を推進します。

1. 地域住民のための生涯学習活動を推進するために、学習ニーズに応じた各種講座・教室・学級などの開設に努めます。
2. 地域全体で子どもたちを育むために、家庭・地域・学校と連携を図りながら、ふるさとに愛着と誇りを持てる青少年の育成に努めます。
3. 分館や関係団体と連携を深め、地域コミュニティづくりの拠点となるよう努めます。
4. 地域住民とともに、地域が抱える課題に対する理解を深め、課題解決に向けた活動を推進し、地域力を高める取り組みを進めます。

【重点施策】

1. 生涯学習活動の推進
 - (1) 学習情報の収集及び提供
 - (2) 分館活動支援事業
 - (3) 地域力育成事業
 - (4) 公民館講座
 - (5) ジオパーク学習
 - (6) 高齢者教室
 - (7) 公民館なんでもマナビ講座
 - (8) 体育団体支援

2. 地域の教育力の向上
 - (1) ふるまい向上
 - (2) 児童生徒地域見守り事業
 - (3) 冬期体力づくり教室

3. 家庭教育・青少年教育の充実
 - (1) 家庭教育支援事業
 - (2) 青少年の育成と活動の推進事業
 - (3) 地域青少年伝統活動支援事業

4. 文化芸術活動の推進
 - (1) 文化祭の開催
 - (2) 図書普及活動

5. 人権同和教育の推進
 - (1) 人権・同和教育の推進活動

6. コミュニティ活動の推進
 - (1) コミュニティ活動の推進事業

7. その他関連事業
 - (1) 社会教育施設の管理と活用

Ⅲ-4 図書館運営の方針

隠岐の島町図書館は、平成 11 年の開館以来、町民の生涯学習施設として、知る権利や学習の権利を保障し、学びの場として親しまれてきています。

学習の拠点をめざし、8 万冊の蔵書をはじめとする各種資料の充実に努めてきました。今後も図書館機能が十分に発揮できるよう幅広く資料の整備を進め、一層充実した図書館となるよう努めます。

また、町民のみなさんの図書館に対する関心を高め、利用者の拡大を図るための活動とともに、人と人とのつながり・ゆとり・やすらぎの場となるような取り組みを推進します。

【基本目標】

1. 各種資料を収集・分類・整理・保存し利用者に提供します。
2. 特に隠岐に関係する歴史・文化・民俗・産業などの資料を積極的に収集し、歴史や伝統が埋もれないようにしていきます。
3. 資料の貸し出しを行い、当館に無い資料は購入・他館より借りるなどして「知りたい気持ち」を支えます。また、生活する上での疑問・質問にも回答できる資料を提供していきます。
4. ボランティア・保育所・学校・公民館などと一緒に、生活の中に本がある環境作りに取り組んでいきます。
5. 乳幼児期から絵本に親しむ機会（ブックスタート、はじめてのえほん）を作り、ブックトークやおはなし会など子どもの読書推進活動を充実していきます。
6. 公民館・保育所・学校などと連携のうえ、図書館から遠距離に住んでおられる町民の皆さんにも貸し出しサービスをしていきます。
7. 展示コーナーや研修室などの館内施設を利用して、様々な情報を発信していきます。
8. ホームページや、「読まんかね」「プレジャー」などの広報紙を活用して情報を発信していきます。

【重点目標】

自主自立のまちづくりの情報基地を目指します。

【重点施策】

1. 利用者の視点に立った魅力ある図書館づくり。
 - (1) レファレンスサービスの充実
 - (2) 配架図書の整理の徹底
 - (3) 図書館ボランティアとの連携強化
 - (4) 図書館を利用しての行事や館内展示の充実
 - (5) 職員の資質の向上
2. 子どもの読書活動の推進
 - (1) 幼児・児童の読書活動の推進
 - (2) 中高生の読書啓発活動
 - (3) 保育所・学校・地域等との連携
3. 地域情報の収集と提供
 - (1) 地域資料の収集と活用
 - (2) 離島関係の資料の収集と活用
 - (3) 地場産業の支援
 - (4) 地域情報の提供サービス
 - (5) まちづくり関係機関との連携

Ⅲ-5 学校給食センター運営の方針

学校給食は、児童・生徒の心身の健全な発達に資することを目的に、学校教育の一環として食に関する指導（食育）の役割・推進も担っています。

児童・生徒が食に関する理解を深め、日常の生活で実践していくことができるようになるために、家庭や地域との連携を図りつつ食に関する指導や食育推進の啓発活動を行います。

成長期にある児童・生徒に栄養バランスの取れた給食を提供することにより、健康の増進と体力の向上を図りながら、児童・生徒一人ひとりが「食べる知恵」を身につけ、健康な心身を育てるために、安全・安心で地元食材をふんだんに使った美味しく魅力ある学校給食を提供します。

また、学校給食の運営にあたっては食中毒の防止をはじめとした衛生管理の徹底を最優先し、適切な施設設備の維持管理を行います。また、食物アレルギーの原因物質を取り除いた除去食の安全な提供を含めた給食内容の充実を図り、生活習慣病の予防に努めます。

重点施策

1. 食育の充実

① 食育教育の推進

栄養教諭、養護教諭を中心に食に関する指導を行います。

② 地産地消の推進

地場産物を取り入れた「ふるさと給食」を月1回実施し、教材として活用することで、食育の実践、郷土食、伝統食の伝承に努めます。

③ 「食育月間」「食育の日」「しまね家庭の日」の普及

家庭における食育推進の啓発活動に努めます。

④ 『学校給食魚食普及事業』の実施

毎月1回（年11回）隠岐産の魚介類を給食に取り入れ、その食材の特徴などを紹介することで魚食及び漁業への理解を深めます。

2. 衛生管理の徹底

給食調理業務及び配送業務は民間委託をしています。安全・安心な給食提供のため、受託者と協力し徹底した衛生管理を行います。

3. 食物アレルギーの対応

食物アレルギー対応マニュアルに基づき、アレルギーに対して正しい知識を持つとともに、対応食から緊急時まで関係者の連携を密にし、対象児童生徒が安心・安全に学校生活を過ごせるよう努めます。

4. 児童・生徒の生活リズムの改善及び生活習慣病予防

日本型食生活の実践や「食生活指針」「食事バランスガイド」の活用を推進します。

IV. 事業計画

A policy and an enterprise of education

○ 総務事業計画
○ 学校教育事業計画
○ 社会教育事業計画
○ 公民館事業計画
○ 図書館事業計画



しげさパレードで踊りを披露する園児達

IV-1 総務事業計画

1. 会議及び啓発

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
教育委員会の開催	教育行政に関する重要な事項について審議決定する。	教育委員 (5名)	年間12回	教育委員会 本庁・支所	1,159
総合教育会議の開催	教育行政重要施策の検討及び緊急に講ずべき措置の協議。	町長 教育委員 (5名)	随時	教育委員会 本庁・支所	
学校及び社会教育施設の視察	小・中学校及び社会教育施設の視察を実施し、経営状況等について現状把握を行い、学校教育並びに社会教育の充実に努める。	教育委員 教育長 関係機関 及び団体等	随時	小・中学校 公民館等 社会教育施設	
隠岐地区教育懇話会	県主催の教育懇話会に参加し県及び隠岐郡各町村の教育行政をめぐる諸問題について研究協議する。	県教育長 県担当者 教育長	8月	隠岐の島町	6
教育委員研修事業	島根県市町村教育委員会連合会総会及び研修会	教育委員 (5名)	7月	県内	86
教育委員会事務局職員研修会の開催	教委事務局職員を対象に、教育行政職員としての資質向上と研鑽を積むための研修会を開催する。	教委事務局職員	年間1回	教育委員会	
学校・教委連絡会	学校と教委事務局との連携を深めるとともに、諸課題に対して共通の認識をもって協議する。	教育長 学校長 教委事務局職員ほか	年間5回	教育委員会	
広報の発行	町総合誌により、教育の現状や課題について一般住民の理解を深めると共に教育現場での優れた研究実践等を紹介する。	管内	年間 (町総合誌)	教育委員会	
ホームページへの掲載	教育委員会の施策及び事業に関する情報を島内外に広く発信する。	教育委員会 職員	年間	教育委員会	
教育の方針と事業発刊	「教育の方針と事業(教育要覧)」の発刊	関係機関 及び団体等	5月		15
事務の管理執行状況についての点検評価	主要な施策や事務事業の取り組み状況について点検評価を行い、効果的な教育行政の推進を図るとともに報告書を議会に提出し、公表する。	事業評価委員 (5名) 教育委員会 職員	6月 5 9月		118

IV-2 学校教育事業計画

1. 確かな学力を育む教育の推進

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象 及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
(1) 学力向上対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ○全国・県・町学力調査の実施と分析 ○プロジェクト会議・専門部会の設置 ○教職員研修の実施 ○学習プリント配信システムの活用 ○派遣指導主事の配置 ○生活習慣の改善のためのチラシ作成・配布 ○事業の検証 	児童生徒 保護者 教員	4～3月	小中学校	4,715
(2) 学校図書館充実事業	<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館司書・図書館支援員の配置 ○図書の購入 ○図書システム更新 	児童生徒 保護者 教員	4～3月	小中学校	19,015
(3) 英語指導事業 (ALT派遣)	英語教育の充実と国際理解の推進を図るため、ALT(外国語指導助手)を各学校へ派遣し、英語の授業の補助等を行う。	児童生徒	年間	小中学校	11,018
(4) 教材整備事業	学校で使用する教材等の整備	児童生徒 教員	4～5月	小中学校	4,718
	教育用及び教員用パソコンの整備	児童生徒 教員	年間	小中学校	7,969
(5) 各種研究指定事業	<県教委指定事業> 学校図書館活用教育研究事業	児童 教員	年間	西郷小学校	0
	<県教委指定事業> 複式教育推進指定校事業	児童 教員	年間	北小学校	300

2. 豊かな心と健やかな心身を育む教育の推進

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
(1) 各種検診事業	耳鼻科・眼科検診	小中全学年	6月	小中学校	540
	心電図検査	小学校 1・4年生 中学1年生	一学期	小中学校	1,355
	尿検査	小中全学年	4月～ 12月	小中学校	
	血液検査	小学校5年生 中学校2年生	一学期	小中学校	
	就学時健康診断	次年度 新1年生	11月	小学校	

3. ふるさとへの愛着と誇りを育む教育の推進

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
(1) ふるさと教育	ふるさと教育副教材「ふるさと隠岐」の積極的活用	児童生徒	年間	小中学校	0
	ジオパーク学習等、ふるさと学習の推進	児童生徒	年間	小中学校	1,210

4. 子どもたちの学びを支える取組の推進

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額	
(1) 教育相談事業	スクールソーシャルワーカー配置事業	専門的な知識や技術を有する者をスクールソーシャルワーカーとして配置し、児童生徒の置かれている環境への働きかけや関係機関との連絡調整など総合的な支援を行う。	児童生徒 保護者 教員	年間	小中学校	655
	スクールカウンセラー配置事業	児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する者をスクールカウンセラーとして配置し、教育相談体制や生徒指導の充実を図る。	児童生徒 保護者 教員	年間	小中学校	0 (県負担)
	いじめ対応支援事業	アンケートQUを実施し、個人、学級集団の状態を学校全体が共通指標をもって把握、分析することにより、いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見、未然防止を図る。	児童生徒 教員	年間	小中学校	501
	特別支援教育体制推進事業 (相談支援チーム)	関係機関が連携し、乳幼児期から学校卒業後までの発達障がいを含む全ての障がいのある幼児児童生徒の特別支援教育を総合的に推進する。	幼児児童 生徒 保護者 教員	年間		38
	就学相談 (隠岐教育支援委員会)	隠岐郡内の障がい等のある幼児児童生徒の教育相談、適切な就学判定を行い、特別支援教育の充実を図る。	幼児児童 生徒 保護者	5～3月		116
	相談支援事業	○子育て手帳、相談支援ファイルを配布し、関係機関の連携による一貫した支援の充実を図る。 ○幼児からの聴力検査が可能なオーディオメーターを活用し、聴覚障がいの早期発見を図り、適切な支援を行う。	幼児児童 生徒 保護者	年間		269

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
(2) 教育支援センター「スマイル」運営事業	長期間にわたり学校を欠席している児童生徒に対し、社会的自立に必要な適応力を身に付けたり、居場所を提供するなど、個々の実態に応じた支援を行う。	児童生徒 保護者	年間	教育支援センター「スマイル」	3,171
(3) 特別な支援のための支援員配置事業	発達障がいなど、特別な教育的支援を要する児童生徒に対する支援体制の整備を図る。	児童生徒	年間	小中学校	11,940
(4) にこにこサポート事業 (非常勤講師配置)	小学校の通常の学級に在籍する ADHD、LD、高機能自閉症等発達障がいのある児童に対して、特別な支援のための非常勤講師を配置し、生活上や学習上の困難を改善・克服するために必要な支援を行う。	児童	年間	小学校	0 (県負担)
(5) 特別支援コーディネーター配置事業	発達面の気になる子どもの早期からの支援と、就学後の適正な支援が受けられるよう関係機関の連絡調整や、体制整備を行う。	児生教保 童徒員者 護者	年間	保育所 小中学校	3,486
(6) 教育費関係補助事業	○特別支援学級合同学習事業補助金 ○部活動等大会参加費	児生教 童徒員	年間	小中学校	12,198
(7) 就学援助費・特別支援教育就学奨励費支給事業	経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者を対象に、医療費、学用品費、給食費等を援助し保護者の負担軽減を図ることにより、義務教育の円滑な実施に資する。	児生保 童徒者 護者	年間	小中学校	18,825
(8) 修学旅行費補助事業	隠岐の島町内小中学校が行う修学旅行に対して、費用の一部を助成する。	児生教保 童徒員者 護者	5月～ 8月	山陽方面 関西方面	8,644

5. 教育環境の整備

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	実施時期	実施場所	予算額
(1) 学校施設修繕	教育施設小修繕 【事業内容】 小中学校、教職員住宅及びスクールバスの管理上支障のある箇所について修繕を実施する。	随 時	小中学校	11,255
(2) 磯小学校 屋外運動場 整備事業	屋外運動場整備 運動場の洗掘や土砂流失を改修し、安全な体育活動を実施する。	5～11月	磯小学校	34,000

6. 高校魅力化事業

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	実施時期	対象高校	予算額
(1) 豪州交流事業助成	オーストラリアのマッキロップ高校との交流をとおり、隠岐高校生徒の意識の国際化と隠岐高校の魅力を島内外に発信する。	7月	隠岐高校	1,500
(2) オープンスクール参加助成	島外からのオープンスクール参加者に対し、旅費の助成を行い島外からの入学生増を図る。	7～8月	隠岐高校 隠岐水産高校	800
(3) 学力向上助成	有名予備校の教材を購入し、生徒の学力向上を図り、更には隠岐高校の魅力アップにつなげる。	年 間	隠岐高校	1,000
(4) 高校寮費助成	寄宿舎に入寮している生徒及び島外からの在校生で祖父母宅等から通学している生徒に対し助成を行い、島外からの入学生増を図る。	年 間	隠岐高校 隠岐水産高校	5,040
(5) 部活動遠征費助成	本土で開催される部活動への旅費の助成を行い、各高校の魅力アップにつなげる。	随 時	隠岐高校 隠岐水産高校	1,400
(6) 高校研修旅行助成	関西圏の企業・大学等への研修旅行の助成を行い、高校の魅力アップを図り、島内外からの入学生の増加につなげる。	9月	隠岐水産高校	600
(7) 高校魅力化コーディネーター配置	地域を巻き込んだ高校の魅力化・活性化事業を行い、島内・島外からの入学生の増加を図る。	年 間	隠岐高校 隠岐水産高校	8,603

IV-3 社会教育事業計画

1. 附属機関の運営

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
社会教育委員の会議	社会教育に関する研究調査・諸計画の立案を行い、教育委員会の諮問に応じ、意見を述べる。	社会教育委員 (10名)	定例会議 年2回 臨時会議 年2回	教育委員会	317
町立屋内温水プール運営委員会	プールの管理運営を適正且つ円滑に行うための調査審議を行う。	運営委員 (10名)	年2回	町立屋内温水プール	82
総合体育館管理運営委員会	総合体育館の管理運営を適正且つ円滑に行うための調査審議を行う。	運営委員 (10名)	年2回	総合体育館	82
スポーツ推進審議会	生涯スポーツ推進計画を作成し、具体的な推進を図る。	審議会委員 (10名)	年3回	教育委員会	117
文化財保護審議会	文化財の調査研究と保存活用体制の確立についての研究協議を行う。	審議会委員 (10名)	年3回	教育委員会	123
町立図書館運営委員会	町立図書館の運営及び事業の計画・実施について審議する。	運営委員 (10名)	年3回	町立図書館	108

2. 社会教育の振興

(単位:千円)

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
「がんばれ島のキッズ」島外遠征助成事業	島外へ遠征するスポーツ・文化クラブ等に対して、遠征経費の一部助成を行い、保護者の経済的負担の軽減を図り、子どもたちの活発な活動を支援する。	個人・団体	年間	島外遠征	4,669
結集！しまねの子育て協働プロジェクト(国・県補助)	家庭教育支援事業	町内のファシリテーター(学習支援者)を活用し親学プログラムを開催し、保護者が親としての役割や子どもとの関わりについて学ぶ場を提供する。	年間	小中学校等	100
	学校支援地域本部事業	地域と学校が連携・協働する体制を整備し、住民の知識・経験を活用し地域教育力の向上を図る。	年間	小中学校	827
	放課後子ども教室推進事業	総合体育館、都万、五箇、布施公民館及び中条、磯、有木、北小学校に、放課後気軽に立ち寄れる居場所を設置し、子どもたちの体験活動や地域住民との交流活動を促進する。	年間	総合体育館 都万・五箇・ 布施公民館 中条・磯・ 有木・北小	3,202
ふるさと教育推進事業(県交付金)	地域の教育資源(ひと・もの・こと)を活かした教育活動を公民館、学校、地域が一体となり推進する。	児生 童徒	年間	町内	935
社会教育団体活動支援事業	成人教育団体の活動促進を図る。(小中学校PTA連合会)(各地区の団体は公民館で予算化)	成人団体	年間	—	100
人権・同和教育関係団体活動推進事業	隠岐の島町人権・同和教育推進会議の活動を促進し、人権・同和教育基本構想を基に教育活動を推進する。	一般	年間	町内	195
教育文化施設運営事業	文化会館の施設を拠点に、財団などのノウハウを活用しながら、更なる教育・文化の振興を推進する。	—	年間	隠岐島文化会館	19,301 (内訳) 指定管理料 19,301

3. 社会体育の振興

(単位:千円)

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
スポーツ推進委員研修会	スポーツ活動の企画・運営・実技等の研修と町民のスポーツ活動の実態把握及び方向づけを行う。	スポーツ推進委員(25名)	年3回 専門部会 各1回	教育委員会	721
学校施設解放事業	スポーツ活動の拡大と日常化に対応し、活動の場の確保を図る。	スポーツクラブ・団体	年間	小中学校	—
学校施設利用団体調整会	学校施設の有効利用とマナーについて、理解を深める。 年間2回	登録団体の責任者	3月 9月	教育委員会	—
隠岐の島町スポーツフェスティバル	軽スポーツを中心としたフェスティバルを開催することにより、競技の普及振興と生涯スポーツへの関心を高める	児童～一般	年間	総合体育館	31
島根県スポーツ・レクリエーション祭	スポレクの意義をふまえ、生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の普及振興を図る。	一般男女	5月～11月	町内会場及び松江市他	—
障がい者スポーツ振興事業	障がい者スポーツの推進を図るためスポーツ環境の整備及び健康増進指導を、事業委託し実施する。	町民	年間	総合体育館等周辺会場	246
社会体育施設管理運営事業	総合体育館、運動公園の維持管理運営を行う。	—	年間	—	25,166 指定管理料 23,069 非常用発電機 1,352 その他 745
	屋内温水プールの維持管理運営を行う。	—	年間	—	4,608 指定管理料 4,526 その他 82
	西郷武道館の維持管理運営を行う。	—	年間	—	1,691 指定管理料 1,691

	中条・岬町民体育館、立木ヨットハーバー艇庫の維持管理・運営を行う。	—	年 間	—	2,214
社会体育団体活動支援事業	スポーツ活動の普及振興を支援する。 各団体の組織強化を支援する。 町内のスポーツ人口の拡大を図る。	ス ポ ー ツ ク ラ ブ・団 体	年 間	—	—
隠岐の島町体育協会	年間各種目のスポーツ事業（15競技）を実施する。 地区体協（8地区）の活動を支援 県体協に加盟	町 民	年 間	町 内	1,994
隠岐郡陸上競技協会支援事業	全隠岐陸上競技選手権大会運営支援 県学童通信陸上競技大会運営支援	児 童～ 一 般	4月29日 6月中旬	隠岐高校	290
スポーツ少年団育成事業	スポーツ少年団の登録 各種情報提供と活動支援 少年野球大会予選	ス ポ ー ツ 少 年 団 体	年 間	町 内	20
全国大会出場助成事業	県予選を勝ち抜いて全国大会に出場する選手に対し、参加経費自己負担分の一部を助成する。	ク ラ ブ 団 体 個 人	年 間	島外遠征	350
八角部屋合宿支援費	大相撲八角部屋隠岐合宿の支援を行うことで、町内相撲競技の普及及び振興を図る。	大相撲八角部屋 隠岐合宿 実行委員会	7月下旬	町 内	3,000
スサノオマジック・プレシーズンマッチ隠岐大会支援事業	スサノオマジック・プレシーズンマッチ隠岐大会の支援を行うことで、町内のバスケットボールの普及及び振興を図る。又、町において、小学生との交流も図る。	スサノオマジック プレシーズン 隠岐大会 実行委員会	9月上旬	町 内	792

4. 文化財の保護と活用

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	実施時期	実施場所	予算額
隠岐の牛突き 習俗調査事業 (国補)	牛突き習俗にかかる資料の収集や関係者等 への聞き取り調査等を実施し、調査報告書 を作成する。 ※国1/2補助 (3年事業最終年) 隠岐の牛突き習俗調査委員会の開催 ※年4回 (指導者1人、調査委員5人)	年 間	教育委員会 他	5,529
牛 突 き 習 俗 保 存 対 策 事 業	牛突き習俗保存のため、導入費、処分費の支 援及び大会出場牛の補助を行う。 ・導入費の2/3 (上限なし) @720千円×2/3×12頭=5,760千円 ・処分費 @70千円×10頭= 700千円 ・大会出場牛 @10千円×50頭= 500千円 ・(新)大会優勝旗代 227千円	年 間	—	7,187
埋 蔵 文 化 財 調 査 事 業	過去の発掘調査で出土した遺物を整理保存 する。開発にかかる埋蔵文化財の試掘調査を 実施する。 ・事務費、臨時職員賃金 他 1,708千円 ・埋蔵文化財分布調査 (下西) 344千円	年 間	教育委員会 下西地区 他	2,052
無形民俗文化 財補助金交付 事 業	町内の指定無形民俗文化財に対し、補助金を 交付する。 ※対象団体：18団体 ※補助対象経費の1/2以内	年 間	町 内	3,000
【新規】 玉若酢命神社 本殿屋根葺替 事 業 補 助	玉若酢命神社が実施する本殿屋根の葺替事 業に補助する。町の補助額は、総事業費から 国庫補助額 (85%) を引いた額の1/3。 ※総事業費 53,830千円 国庫補助額 45,755千円 県補助額 2,691千円 ◎町補助額 2,692千円 所有者負担額 2,692千円	年 間	玉若酢命神社	2,692
古 文 書 研 究 会 支 援 事 業	古文書研究及び活用について、町全体でその 機運を高めるために、住民と行政が一緒にな って立ち上げた古文書研究会を支援する。 ※協働のまちづくり事業助成金を活用す る。(最終年)	年 間	教育委員会 他	600
古 文 書 整 理 保 存 事 業	町内各所で保管している古文書を防虫処理 した上で、適切に整理・保管する。 ※防虫処理機器リース料、消耗品費等 古文書整理保存事業検討委員会の開催 ※年2回 (検討委員8人)	年 間	教育委員会 郷土館 図書館 他	414

隠岐の文化財 発刊(第35号)	隠岐島内の文化財に関する調査研究をまとめた研究誌「隠岐の文化財」を発刊し、郷土の文化財に対する住民の意識啓発を図る。 ※島前の各教委と共同出版(850部) ・印刷製本費 753千円 ・送料 40千円 ・編集委員会費 36千円	平成30年 3月発刊	教育委員会 他	829
【新規】 隠岐国分寺 国史跡指定 記念事業	隠岐国分寺の国史跡指定(H30年1月予定)に際し、記念講演会と関係文化財の展示を行う。 ・講演会等開催費 428千円 ・関係文化財の展示 14千円	年間	隠岐国分寺 他	442
布施海岸見廻り 看視事業 (国補)	国の名勝に指定(昭和10年5月30日)されている隠岐布施海岸の看視を布施地区に委託し実施する。 (国99/町26) ・見廻り看視委託費 125千円 ※年間見廻り看視日数 104日	年間	布施	125
国指定重要 文化財防災 設備保守 (国補)	国指定重文の防災設備保守点検費補助金(玉若酢命神社、億岐家住宅、水若酢神社) ※総事業費 418千円 (県207/町111/所有者100)	—	玉若酢命神社 他	111
天然記念物樹勢 モニタリング	樹木医を招いて、町内の天然記念物の樹勢等のモニタリングを行い、天然記念物保存対策の指導を仰ぐ。 ◎樹木医謝金・旅費(2人) 111千円 [対象天然記念物] 八百杉、かぶら杉、春日神社クロマツ群、唐傘の松、大山神社の杉とケヤキ	11月頃	町内	111
佐々木家住宅 管理運営事業	佐々木家住宅の管理運営及び活用イベントを実施する。 ・管理清掃費(305日) 1,666千円 ・光熱水費・事務費等 259千円 ・設備維持費(浄化槽、防火設備) 204千円 ・活用イベント(神楽公演3月) 50千円 ・(新)消防ポンプ小屋解体工事費 188千円	年間	佐々木家 住宅	2,367
文化財指定事業	文化財指定に向けた調査及びデータベースの作成等。 町内指定文化財のパンフレットを作成し情報提供及び観光に活用する。 ・(新)指定文化財パンフレット作成 756千円	年間	町内	756

5. 図書館の管理と活用

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象 及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
隠岐の島町 図書館管理 運営事業	町立図書館の適正な管理運営を図る。管理運営業務を指定管理者制度により、隠岐の島町教育文化振興財団が行う。	—	年間	図書館	30,729
隠岐の島町 図書館資料 整備事業	図書のほか雑誌、新聞、大活字本等の収集を積極的に行う。加えて、郷土の歴史・文化・産業など、地域を再発見し、郷土に活力をもたらす資料・情報の収集にも努める。	—	年間	図書館	4,000
隠岐の島町 図書館視聴覚 資料整備事業	映像再生機器の進歩に合わせて、図書館内の映像資料を新たな媒体へ更新していく。	—	年間	図書館	600
【新規】 隠岐の島町 図書館施設 整備事業	空調設備をペレット式ボイラー機に更新する。 ・基本設計委託料 2,028千円 ・実施設計委託料 2,203千円 ・空調設備更新工事 53,160千円	—	年間	図書館	57,391
【新規】 隠岐の島町 図書館備品 購入事業	図書館の運営及び資料管理に必要な備品を購入する。 ・デジタルアーカイブ用ノートパソコン 140千円 ・事務用イス 40千円	—	4月	図書館	180
隠岐の島町 図書館振興計 画策定委員会	より良い図書館運営を行っていくための基本方針となる「隠岐の島町図書館振興計画」を策定する。	策定委員 (5人)	年5回	図書館	—
【新規】 第二次子ども 読書活動推進 計画策定委 員会	平成23年度に策定した「子ども読書活動推進計画」の見直しを行い、第二次推進計画を策定する。	策定委員 (8人)	年3回	図書館	99

6. 文化芸術活動の普及推進

(単位：千円)

事業名	事業のねらい・内容等	参加対象 及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
【新規】 歴史文化保存 活用団体支援 事業	町内に伝わる歴史や文化を継承、普及する団体に活動費を補助する。 ※協働のまちづくり事業助成金を活用する。	一般 団体	年間	町内	400
地域と中学校 の文化活動 支援事業	中学校が地域で文化活動を実施する際の費用を補助する。	中学校	年間	町内	83

IV-4 公民館事業計画

1. 生涯学習の推進

(単位：千円)

事業名	事業のねらい、内容等	参加対象者 及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
公民館運営審議会	公民館の運営・事業の企画実施について調査審議する。委員の自主研修実施。	委員 10名	6月 11月 随時	文化会館	82
学習情報の収集及び提供	1.「公民館ニュース」により公民館活動や分館活動についてのPR及び島内の各種情報を収集し住民に提供する。 2. 隠岐の島町ウェブサイトや町の「お知らせ便」を活用し、各種講座の開設予定や募集などの情報を提供する。	全戸配布	毎月月末	—	—
分館長会議及び研修	分館相互の連携を深め、地域の実情に即した活動方法などについて協議する。 活動助成や支援について説明会を開催する。	中央 41 分館 布施 12 分館 五箇 12 分館 都万 18 分館	年間 年 1～3 回	各地区 分館	—
分館活動支援事業	分館において、自主的に取り組む学習活動を支援する。また、その運営のために、活動費を助成する。	各分館の 住民	年間	各分館	中央 3,051 布施 893 五箇 890 都万 1,340 計 6,174
職員研修	公民館活動を推進するため各種の研修会に参加し、また職員相互の研修を行い、職員の資質向上に努める。	公民館職員	—	教育委員会 文化会館	—
地域力育成事業	地域住民とともに、地域課題の解決に向けて取り組みを行う。	町民	年間	各地区 分館	中央 60
公民館講座	地域住民の学習要求や新たな課題に応じた生涯学習の機会を提供する。 また、地域での生涯学習の機会を提供し、地域住民の交流を促進します。	町民	年間	各公民館 体育施設	中央 161 布施 80 五箇 130 都万 55 計 426

分館 ジオパーク学習	隠岐ジオパーク推進協議会との連携により、すべての分館（83分館）においてH27より3ヶ年で学習の場を設ける。	分館	年間	各分館・集会所	—
高齢者教室	高齢者の学習及び社会参加の機会を提供するとともに、リーダー育成を図る。	各地域の高齢者4団体	年間	各公民館	中央 50 都万 68 計 118
公民館 なんでも マナビイ 講座	公民館がコーディネーターとして、地域、分館、学校などが、登録をした学びたい内容について、講座と講師の紹介や日程調整などを図るなどの要望に応える。	関係団体 地域住民	年間	各公民館 分館	—
体育 団体支援	地域住民の体力づくりやコミュニティの醸成を目的として、各地区の体育協会を支援する。	町民	年間	各公民館 体育施設	—

2. 地域の教育力の向上

事業名	事業のねらい、内容等	参加対象者 及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
ふるまい 向上	あいさつの重要性を認識し、進んであいさつをする子や親の育成を図る。	事業実施時 参加児童等	随時	—	—
児童生徒 地域見守 り事業	地域住民の協力を得て、通学時及び地域内で遊んでいる児童生徒を見守る。	地域住民 (ボランティア)	随時	布施地区 五箇地区 都万地区	—
冬期体力 づくり 教室	寒稽古として各種スポーツ教室を開設し、住民の健康と体力づくりを推進する。	町民	1月	五箇地区	330

3. 家庭教育・青少年教育の充実

事業名	事業のねらい、内容等	参加対象者及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
家庭教育支援事業	家庭教育の重要性についての認識を深めてもらうことを目的とし、家庭教育講座や、親子での活動を推進する。	親子 保護者	随時	文化会館	中央 50
青少年の育成と活動の推進事業	地域で子どもを育む視点から、活動の中心的役割を担う青少年の育成を図るための活動を推進する。 子ども会の活動支援を行う。	地域の子どもたち 子ども会	年間	総合体育館 各公民館	中央 50 布施 28 都万 215 計 293
地域青少年伝統活動支援事業	「立志式」 14歳の若者に将来の目標や進路について決意を明らかにし、大人になるにあたっての自覚を深めてもらう。	中学2年生対象	2月	布施公民館	26

4. 文化芸術活動の推進

事業名	事業のねらい、内容等	参加対象者及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
文化祭	分館及び文化グループ活動の発表機会として実施し、広く町民の文化活動への参加促進と意識啓発を図る。 文化祭を発表の場として活用できるよう、分館活動を支援する。	町民	11月～ 12月	中央公民館 布施公民館 五箇公民館 都万公民館	中央 65 布施 10 五箇 90 都万 39 計 204
図書普及活動	隠岐の島町図書館と連携して読書普及活動を実施し、公民館図書の利用促進を図る。	町民	随時	各公民館	布施 50 五箇 58 都万 57 計 165

5. 人権・同和教育の推進

事業名	事業のねらい、内容等	参加対象者及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
人権・同和教育の推進活動	日常生活の中での「差別や偏見」、「人権」について、意識啓発を図るための研修会や地区学習活動を通して、人権・同和教育を推進する。	職員	随時	文化会館	—

6. コミュニティ活動の推進

事業名	事業のねらい、内容等	参加対象者 及び人員等	実施時期	実施場所	予算額
コミュニティ活動の推進事業	まちづくり運動協議会及び関係団体との連携により、「ひとづくり活動」、「環境美化活動」を中心とした事業への取り組みを通して、住民参加による活力のある「ふるさとづくり」に向けた活動を推進する。	町 民	随時	—	中央 810 布施 48 計 858

7. その他関連事業（各施設の管理運営）

- (1) 社会教育施設の管理と活用

IV-5 図書館事業計画

1. 図書館の充実と魅力ある図書館づくり

事業名	事業のねらい、内容等	参加対象者及び人員等	実施時期
蔵書点検及び資料等の情報収集	不明資料がないか等、図書館と各公民館図書室及び中出張所の蔵書の点検をする。また、資料等の収集に努める。		蔵書点検 2月中 情報収集 随時
関係機関との連携強化	団体貸出しとして、公共施設等に100冊を上限に本の貸出しを行う。	公共施設	
	県立図書館の司書と図書館運営に関する意見交換や研修を行う。	司書 各公民館	7月 3月
	法人や個人などに協力を求め、雑誌コーナーを充実する。	一般 法人	年間
	学校図書館訪問を行い、担当教諭や学校司書と課題点などを話し合いながら、相互の児童生徒の図書利用を促進させる。	学校図書館 担当者 及び司書	年間
図書館施設の活用	図書館内のカウンター前のスペース、図書館奥の展示ケースを利用して、郷土資料の展示や、地域の作品、図書等を展示する。	町民	毎月
	図書館まつりで、古本市など各種行事を開催し、より多くの方に、図書館に親しむきっかけをつくる。	町民	11月
図書館開放	図書館研修室等を開放し、町民の方々に広く利用してもらう。	町民	年間
公民館図書室等との連携	各公民館図書室及び中出張所に、数百冊程度の図書の配本を行い、利用者へ貸出し返却などのサービスを拡大する。	五箇公民館 都万公民館 布施公民館 中出張所	年4回 年2回

隠岐病院への配本	病院の待合室に除籍資料、または寄贈本等を置き、待ち時間などに本を活用してもらう。	町民	年3回
ボランティア参加の促進	多様な利用者に対する図書館サービスを展開するために、ボランティアの参加を一層促進する。	ボランティア	年間
よるとしよ	図書館を夜間開館し、同時に様々なイベントを開催することで、幅広い方々に対し、来館のきっかけを作る。	町民	年3回

2. 読書活動の推進

事業名	事業のねらい、内容等	参加対象者及び人員等	実施時期
子ども読書活動推進	《はじめてのえほん》 読み聞かせ・手遊び等を通して、幼児の頃から絵本やお話に興味をもってもらう。	0～3歳児	毎週日曜日
	《おもちゃのへや》 おはなしのへやのおもちゃを開放し、親子で紙芝居・おもちゃ・絵本に親しんでもらう。	幼児 児童	毎週金曜日
	《おはなしのへや》 ボランティアグループ「おはなしのへや」の協力を得て、読み聞かせを基本に、幼児・児童サービスを行う。	幼児 児童	毎週土曜日
	《ブックスタート事業》 町内で生まれた赤ちゃんと、その保護者に絵本を手渡し、絵本を開く楽しい体験を知ってもらい、かけがえのないひと時を持つ、きっかけ作りをする。 4ヶ月の乳児：読み聞かせと絵本2冊をプレゼント 3歳児：図書館で絵本1冊をプレゼント (ボランティア・役場福祉課・隠岐の島町教育委員会と協力)	4ヶ月の乳児 3歳児	毎月第3水曜日
	《子ども読書の日スペシャル》 子ども読書の日行事として、読書に親しむおはなし会を行う。	幼児 児童 親子	4月23日

子ども読書推進	<p>《季節の行事》 ボランティアグループの協力を得て、季節の行事に合った、ブラック紙芝居・工作・ストーリーテリング・ブックトーク・読み聞かせ等を行う。</p>	<p>幼児 児童 親</p>	<p>7月1日 12月16日</p>
	<p>県から寄託の「しまね子育てえほん」(約1,000冊)を管理し、町内各保育所等に貸出しをする。</p>	<p>保育園(所) 支援センター等</p>	<p>貸出 3か月ごと 2箱</p>
	<p>《親と子の読書普及事業》 保護者または親子を対象に、親子読書や子どもの読書を推進する啓発活動を行う。</p>	<p>幼児 児童 保護者</p>	<p>年間</p>
調べ学習講座	<p>図書館の様々な資料を活用して、自分で課題を解決する力や情報活用能力を身に付ける。</p>	<p>児童</p>	<p>7月</p>
図書館講座	<p>島内外の有識者を講師に招き、図書館講座を行うことで、読書への関心を高める。</p>	<p>一般</p>	<p>年間</p>
隠岐アゴラ	<p>「隠岐アゴラの会」の協力を得て、おすすめの本を紹介し合い、本を通して意見を述べ合う中で、読書への興味の幅を広げる。 ※主催：隠岐アゴラの会</p>	<p>高校生 一般</p>	<p>毎月 第2 土曜日</p>
民話語る会	<p>「おき民話の会」の協力を得て、隠岐を中心とした民話を語る会を行い、ふるさとの民話を伝える。</p>	<p>町民</p>	<p>毎月 第1 日曜日</p>

3. 地域情報の収集と提供

事業名	事業のねらい、内容等	参加対象者及び人員等	実施時期
ビジネス支援事業	<p>就職、転職、起業などに役立つ資料や情報を集めたコーナーを設置。定期的に情報を更新する。</p>	<p>一般</p>	<p>年間</p>
郷土資料モニター	<p>郷土資料をより効果的に充実させるためのモニターの活用を行う。</p>	<p>郷土資料モニター 5名</p>	<p>年間</p>

【新規】 郷土資料 保存公開 事業	郷土資料のデジタルアーカイブ（デジタル媒体への記録・保存）等を進め、目録作成と活用促進を行う。	一般	年間
プレジャー 発行	中学生・高校生の協力を得て、中学生・高校生のための読書案内を作成し、青少年のよりよい読書環境の形成を図る。	中高生	5月 9月 1月
読まんか ね発行	図書館の新着図書の紹介や、イベントなどの紹介をするために発行する。	一般	毎月
図書館年報 発行	図書館年報を発行し、業務の分析をする。		年1回

V. 指定文化財、各種委員名簿

A policy and an enterprise of education



V-1 隠岐の島町の指定文化財

国指定 14 県指定 24 町指定 36 計 74

指定別	種別	指定年月日	名称	所在地	備考	
1	国	天	1928. 2. 7	高尾暖地性潤葉樹林	中村	中村字高尾の標高350m～420mの森林。現在の指定面積は約12ha。暖地性常緑広葉樹林
2	国	天	1929. 12. 17	玉若酢命神社の八百スギ	下西	推定樹齢千数百年の杉一株 樹高は28m。杉の巨木としては県下一
3	国	史	1934. 3. 13	隠岐国分寺境内	池田	後醍醐天皇行在所跡 礎石群が残る
4	国	考	1935. 4. 30	隠岐国駅鈴 附光格天皇下賜唐櫃1合	下西	国内で唯一現存
5	国	考	1935. 4. 30	銅印「隠伎倉印」	下西	現存するのは隠岐・駿河・但馬
6	国	名天	1938. 5. 30	隠岐白島海岸	西村	島後最北端の海岸 流紋岩の白色が美しい
7	国	天名	1938. 5. 30	隠岐海苔田の鼻	元屋	元屋地区の北東に突きだした岬 鎧岩などアルカリ粗面岩の節理が特徴
8	国	名	1938. 5. 30	隠岐布施海岸	布施	布施地区の海岸一帯 浄土ヶ浦など凝灰岩による美しい景観
9	国	天	1938. 2. 10	沖島オオミズナギドリ繁殖地	西村	白島海岸にある沖島。繁殖地は国内で6箇所 4月頃飛来7月頃産卵
10	国	有民	1974. 11. 19	隠岐島後の生産用具	郡	漁労用具など674点
11	国	無民	1977. 5. 17	隠岐国分寺蓮華会舞	池田	平安時代より伝承される舞楽。7つの舞が残る 毎年4月21日公開
12	国	建	1992. 1. 21	玉若酢命神社	下西	本殿(1793建立)、随神門(1852建立)、社家億岐家 住宅(1801建立)が指定
13	国	建	1992. 1. 21	水若酢神社本殿	郡	1795年の建立 隠岐造の神社様式
14	国	建	1992. 8. 10	佐々木家住宅	釜	1836年の建立 隠岐造民家の特徴を残す。石置杉皮葺き
15	県	無民	1962. 6. 12	島後原田神楽	原田	周吉神楽の一つ 原田地区の社家、村上家により行われた
16	県	無民	1962. 6. 12	島後久見神楽	久見	穩地神楽の一つ。伊勢命神社で西暦偶数年は7月 15日、同奇数年は7月16日に公開
17	県	有民	1965. 5. 21	旧佐々木家住宅生活用具	釜	幕末から明治時代の農耕・調理などに関わる民具 91点
18	県	無民	1965. 5. 21	玉若酢命神社御霊会風流	下西	馬入れは旧西郷町内から8頭の神馬が参集 毎年6月5日公開
19	県	天	1965. 5. 21	岩倉の乳房杉	布施	推定樹齢800年。樹高は40m 大小20～30の乳房状の下垂根が特徴
20	県	天	1967. 5. 30	世間桜	元屋	雄桜(樹高16m)、雌桜(13m)の2株。推定樹齢はとも に700年。開花状況で豊凶を占ったとされる
21	県	天	1967. 5. 30	春日神社のクロマツ群	布施	布施地区春日神社境内のクロマツ群 過去には樹高日本一(65m)の巨木も存在した

	指定別	種別	指定年月日	名 称	所在地	備 考
22	県	天名	1967. 5. 30	鷲ヶ峰 およびトカゲ岩	布施	珍しい岩質のトカゲ岩 大規模な柱状節理が造り出した屏風岩
23	県	天	1968. 6. 7	中村のかぶら杉	中村	推定樹齢約600年。樹高は38.5m 幹が途中から6本に分かれる特殊な杉
24	県	無民	1968. 6. 7	隠岐武良祭風流	中村・元屋	神相撲、占手などの神事が行われる 隔年(西暦奇数年)10月19日公開
25	県	史	1969. 5. 23	平神社古墳	平	隠岐で最大の前方後円墳 全長47m前後。横穴式石室が露出
26	県	書	1969. 5. 23	紙本墨書高田明神百首和歌	都万	1387年の作 二条良基ら43名の和歌を収録
27	県	建	1970. 10. 27	旧周吉外三郡役所庁舎	郡	現隠岐郷土館 明治初期の洋風木造建築
28	県	工	1970. 10. 27	鉄腹巻 兜、頬当、筒袖当、箆手、膝鎧付	西村	戦国期の作 かつては武良祭の行司役が着用したとされる
29	県	天	1970. 10. 27	元屋のオキシクナゲ自生地	元屋	隠岐の固有種オキシクナゲの自生地 約80haの範囲にナゴランなどの貴重植物も自生
30	県	史	1972. 3. 31	隠岐国分尼寺跡	有木	大型建物跡遺構が並ぶ 舟形単弁蓮華紋の軒瓦が出土
31	県	史	1972. 7. 28	玉若酢命神社古墳群	下西	前方後円墳1基(全長32m) 円墳14基
32	県	無民	1973. 3. 30	水若酢神社祭礼風流	郡	山曳きは水害により流された社殿の材を曳いたこと が起源とされる。隔年(西暦偶数年)5月3日公開
33	県	有民	1973. 3. 30	隠岐島の後 衣食住および生産用具	郡	家具、調度品などなど691点
34	県	有民	1974. 12. 17	都万目の民家	郡	幕末頃の建立 隠岐造民家の特徴を残す。茅葺入母屋造
35	県	有民	1974. 12. 17	原田神楽の面	今津	中世末の柵も含め20面 東郷村上社家より伝来
36	県	史	2000. 3. 28	大城遺跡	西町	隠岐で初の弥生時代の墳墓 四隅突出型墳丘墓
37	県	無民	2005. 5. 15	壇鏡神社八朔祭の俗 牛突き習	上西	毎年9月1日に公開(かつては旧暦の8月朔日公開)
38	県	無民	2012. 11. 20	布施の山祭り	布施	隔年(西暦偶数年)4月の初午の日に公開 帯裁ち、榊まくり、帯締め
39	町	古	1967. 5. 1	佐々木家庄屋文書	釜	隠州視聴合記、検地帳など257点 幕末から明治期にかけての資料
40	町	史	1967. 5. 1	宮尾遺跡	東郷	縄文時代中期の初め 縄文土器、黒曜石製品が多数出土
41	町	史	1967. 5. 1	湊遺跡	湊	縄文後期～弥生前期の遺物散布地
42	町	史	1967. 5. 1	甲ノ原2号墳	下西	前方後円墳 全長30m前後。周辺にも数基の前方後円墳
43	町	無民	1971. 10. 20	西村神楽	西村	周吉神楽の一つ。 毎年8月14日西村神社で公開
44	町	無民	1973. 4. 24	代神楽	代	穂地神楽の一つ。 隔年10月17日北谷神社で公開

	指定別	種別	指定年月日	名 称	所在地	備 考
45	町	無民	1975. 1. 20	御 碕 神 社 祭 礼 宇 屋 だ ん じ り 舞 風 流	東町	「だんじり舞」という名称が特徴 3年毎の7月28日に公開(平成26年公開)
46	町	無民	1975. 1. 20	山 田 客 祭 風 流	山田	的射の神事による豊作祈願 毎年2月初午の日に公開
47	町	無民	1975. 1. 20	長 尾 田 百 手 祭 風 流	長尾田	毎年4月3日に公開
48	町	天	1975. 10. 17	隠 岐 産 著 名 植 物 群 落 (今 津 港)	今津	今津港沿岸の隠岐固有種を含む植物群落 オキノアブラギクやオキタンポポなどが自生
49	町	天	1975. 10. 17	元 屋 の ム ク ロ ジ 群	元屋	熱帯・亜熱帯に分布するムクロジの自生地 11本の巨木が自生
50	町	天	1975. 10. 17	犬 来 の シ イ	犬来	スタジイの巨木2株。樹高は13mと15m 犬来地区から津井の池に向かう林道脇
51	町	天	1975. 10. 17	銚子おんぎやくさんのケヤキ	原田	ケヤキの巨木1株。樹高は23m 過去には2本の杉の巨木と共に指定
52	町	天	1975. 10. 17	物 忌 神 社 の 大 ス ギ	原田	物忌神社の境内、樹高25mの巨木 幹にはケヤキが寄生する
53	町	天	1975. 10. 17	大 満 寺 の マ ド ス ギ	有木	大満寺山頂への登山道の脇 アーチ状の幹が名称の由来
54	町	天	1975. 10. 17	油 井 の ス イ セ ン 等 の 植 物 群 落	油井	油井地区の海岸道路脇。スイセンが群生する地帯 に隠岐固有種が生育する群落
55	町	天	1977. 4. 11	御 碕 神 社 の 森	東町	東町地区御碕神社境内。タブノキ、シイなどの大木 を中心に隠岐の自然林を今に残す
56	町	天	1977. 4. 11	東 郷 の 大 モ ミ	東郷	東郷地区北の林道三叉路。樹高28m 数少ないモミの大木
57	町	天	1977. 4. 11	嶽 山 の イ ス ノ キ	北方	横山寺の脇道を上がった山中。推定樹齢400～500 年。樹高9m。町内で巨木は珍しい。
58	町	天	1977. 4. 11	大 山 神 社 の 杉 と ケ ヤ キ	布施	杉は大山神社の御神木(推定樹齢800年、樹高45m) 山祭りでは帯締め神事を行う
59	町	彫	1986. 12. 20	木 造 随 身 半 跣 像	元屋	年代不詳 ヒノキの寄せ木造り
60	町	建	1995. 4. 21	伊 勢 命 神 社	久見	本殿と拝殿が指定 1841年の建立。隠岐造の神社様式
61	町	無民	1998. 1. 23	い ぐ り 凧 揚 げ 習 俗	隠岐の島町	名称は凧の形が由来 「隠岐いぐり凧まつり」は毎年4月2週目に公開
62	町	無民	1998. 1. 23	旧 西 郷 町 の 牛 突 き 習 俗	池田	旧西郷地域の牛突き習俗
63	町	無民	1998. 1. 23	旧 周 吉 郡 東 郷 神 楽	東郷	周吉神楽の一つ。東郷地区の社家、村上家によっ て行われた。随時公開
64	町	無民	1998. 1. 23	花 生 神 社 祭 礼 風 流	津戸	役主が行う百手神事が特徴 毎年3月28日に公開
65	町	史	1998. 1. 23	光 山 寺 跡	那久	伝小野篁配流の地 寺跡の礎石群が残る
66	町	史天	1998. 1. 23	唐 傘 の 松	中村	武良祭の祭り場。樹高16m 枝ぶりが緩やかな傘状
67	町	天	1998. 1. 23	中 村 海 岸 の ク ロ マ ツ 群	中村	中村海岸の370m×50mの範囲に広がるクロマツの 大木群。防風林の名残り

	指定別	種別	指定年月日	名 称	所在地	備 考
68	町	天	1998. 1. 23	那 久 の ア カ ガ シ 群 落	那久	壇鏡神社から横尾山への標高400mの斜面常緑広葉樹林を中心に隠岐の自然林が残る
69	町	無民	1999. 3. 1	旧五箇村の牛突き習俗	北方	一夜嶽牛突大会は毎年10月13日に公開
70	町	建	2006.12.21	白 鳥 神 社 本 殿	今津	享和年間(1801～1804)の建立 隠岐造の一間社
71	町	建	2006.12.21	高 田 神 社 本 殿 及 び 拝 殿 附 若 宮 社	都万	1806年の建立 本殿は隠岐造一間社。拜殿は珍しい割り拜殿
72	町	無民	2010.4.19	御 客 神 社 祭 礼 風 流	原田	的射の式。饗膳(きょうぜん)の式 西暦偶数年の3月21日に公開
73	町	天	2010.4.19	山 田 の ツ バ キ	山田	山田地区の民家脇にあるヤブツバキの大木 推定樹齢400年。樹高は9m
74	町	天	2010.4.19	オ キ サ ン シ ョ ウ ウ オ	隠岐の島町	町内の清流域に生息。世界の希少種 止水系から流水系への進化の過程が見られる

天:天然記念物
史:史跡
考:考古資料
名:名勝

有民:有形民俗文化財
無民:無形民俗文化財
建:建造物
書:書跡

工:工芸品
古:古文書
彫:彫刻

V-2 教育委員会の各委員

隠岐の島町教育委員

(平成29年4月1日現在)

役 職	氏 名	現 住 所	委 員 任 期
教 育 長	村 尾 秀 信	隠岐の島町西町	自 平成29年 1月 1日 至 平成31年12月31日
教 育 長 職務代理者	野 津 幸 恵	隠岐の島町加茂	自 平成27年 1月 1日 至 平成30年12月31日
教 育 委 員	秋 庭 ゆ み 子	隠岐の島町原田	自 平成26年 1月 1日 至 平成29年12月31日
教 育 委 員	大 津 義 文	隠岐の島町大久	自 平成28年 1月 1日 至 平成31年12月31日
教 育 委 員	山 下 豊 範	隠岐の島町原田	自 平成29年 1月 1日 至 平成32年12月31日

隠岐の島町社会教育委員

(任期：H28.4.1～H30.3.31)

No.	氏名	住所	備考
1	森口 光春	隠岐の島町有木	1号委員 (社会教育関係者)
2	門脇 裕	隠岐の島町港町	1号委員 (社会教育関係者)
3	柳原 忠正	隠岐の島町郡	1号委員 (社会教育関係者)
4	中西 和志	隠岐の島町北方	1号委員 (学校教育関係者) ※任期：H28.4.28～H30.3.31
5	山根 勝	隠岐の島町元屋	1号委員 (学校教育関係者) ※任期：H28.4.28～H30.3.31
6	小川 静香	隠岐の島町大久	2号委員 (家庭教育の向上に資する活動を行う者)
7	小室 賢治	隠岐の島町東町	3号委員 (学識経験を有する者)
8	藤野 博	隠岐の島町東郷	3号委員 (学識経験を有する者)
9	服部 愛子	隠岐の島町城北町	3号委員 (学識経験を有する者)
10	石川 伸吉	隠岐の島町蛸木	3号委員 (学識経験を有する者)

隠岐の島町文化財保護審議会委員

(任期：H28.4.1～H30.3.31)

No.	氏名	住所	備考
1	忌部 正孝	隠岐の島町郡	学識経験を有する者
2	小室 賢治	隠岐の島町東町	学識経験を有する者
3	吉田 均	隠岐の島町中町	学識経験を有する者
4	毛利 彰	隠岐の島町西町	学識経験を有する者
5	八幡 浩二	隠岐の島町東郷	学識経験を有する者
6	常角 敏	隠岐の島町下西	学識経験を有する者
7	鯉田 サツキ	隠岐の島町下西	学識経験を有する者
8	野津 大	隠岐の島町卯敷	学識経験を有する者
9	森 修	隠岐の島町西町	学識経験を有する者
10	八幡 賢一	隠岐の島町西町	学識経験を有する者 ※任期：H29.2.1～H30.3.31

隠岐の島町スポーツ推進審議会委員

(任期：H28. 4. 1～H30. 3. 31)

No.	氏名	住所	備考
1	田平 幸雄	隠岐の島町上西	1号委員 (学識経験を有する者)
2	伊勢 弘	隠岐の島町西町	1号委員 (学識経験を有する者)
3	山口 克秀	隠岐の島町都万	1号委員 (学識経験を有する者)
4	柴原 康子	隠岐の島町栄町	1号委員 (学識経験を有する者)
5	伊藤 弘	隠岐の島町西町	1号委員 (学識経験を有する者)
6	齋藤 尚文	隠岐の島町栄町	1号委員 (学識経験を有する者)
7	加藤 一朗	隠岐の島町栄町	1号委員 (学識経験を有する者)
8	冨田 績	隠岐の島町東町	1号委員 (学識経験を有する者)
9	吉山 修	隠岐の島町山田	1号委員 (学識経験を有する者)
10	高平 重也	隠岐の島町元屋	2号委員 (関係行政機関の職員)

隠岐の島町屋内温水プール管理運営委員会委員

(任期：H28. 4. 1～H30. 3. 31)

No.	氏名	住所	備考
1	中谷 清一郎	隠岐の島町城北町	
2	平木 伸幸	隠岐の島町下西	
3	齋藤 正子	隠岐の島町城北町	
4	加藤 一朗	隠岐の島町栄町	
5	高梨 俊夫	隠岐の島町栄町	
6	高梨 悟金	隠岐の島町東町	
7	藤野 裕二	隠岐の島町栄町	
8	山本 弘	隠岐の島町栄町	
9	真田 緑	隠岐の島町東町	
10	長崎 八重美	隠岐の島町東町	

隠岐の島町図書館運営委員会委員

(任期：H28.4.1～H30.3.31)

No.	氏名	住所	備考
1	門脇裕	隠岐の島町港町	1号委員(社会教育関係者)
2	牧野説子	隠岐の島町栄町	1号委員(社会教育関係者)
3	森修	隠岐の島町西町	1号委員(社会教育関係者)
4	杉原由美子	隠岐の島町久見	1号委員(社会教育関係者) ※任期：H29.5.1～H30.3.31
5	若本恵子	隠岐の島町池田	1号委員(学校教育関係者)
6	湊由香	隠岐の島町港町	1号委員(学校教育関係者) ※任期：H29.5.1～H30.3.31
7	池田加菜子	隠岐の島町岬町	2号委員(家庭教育の向上に資する活動を行う者)
8	池田真理香	隠岐の島町郡	3号委員(学識経験を有する者)
9	毛利彰	隠岐の島町西町	3号委員(学識経験を有する者)
10	常角辰夫	隠岐の島町下西	3号委員(学識経験を有する者)

隠岐の島町総合体育館管理運営委員会委員

(任期：H28.4.1～H30.3.31)

No.	氏名	住所	備考
1	松岡秀明	隠岐の島町西町	
2	林明範	隠岐の島町岬町	
3	米山貴司	隠岐の島町岬町	
4	石川伸吉	隠岐の島町蛸木	
5	久永吉人	隠岐の島町岬町	
6	大西洋二	隠岐の島町原田	
7	斎藤正勝	隠岐の島町城北町	
8	井崎里恵子	隠岐の島町栄町	
9	若本剛	隠岐の島町栄町	
10	和田哉美	隠岐の島町中町	

隠岐の島町スポーツ推進委員

(任期：H28.4.1～H30.3.31)

No.	氏名	住所	備考
1	齋藤 正子	隠岐の島町城北町	
2	高平 重也	隠岐の島町元屋	
3	木村 武司	隠岐の島町城北町	
4	早川 英明	隠岐の島町中町	
5	上野 紀明	隠岐の島町栄町	
6	長崎 好成	隠岐の島町東町	
7	吉崎 敬三	隠岐の島町港町	
8	渡部 春恵	隠岐の島町栄町	
9	徳山 茂	隠岐の島町栄町	
10	佐藤 亘	隠岐の島町犬来	
11	小谷 茂雄	隠岐の島町有木	
12	谷口 真	隠岐の島町下西	
13	村上 勝	隠岐の島町今津	
14	久永 吉人	隠岐の島町岬町	
15	池田 邦彦	隠岐の島町原田	
16	三角 一伸	隠岐の島町城北町	
17	山根 弘行	隠岐の島町布施	
18	三橋 宏平	隠岐の島町栄町	
19	中田 美雄	隠岐の島町北方	
20	柳原 忠正	隠岐の島町郡	
21	齋藤 正和	隠岐の島町郡	
22	齋藤 轟一	隠岐の島町都万	
23	和田 貴弘	隠岐の島町都万	
24	村上 和幸	隠岐の島町津戸	
25	中西 賢一	隠岐の島町栄町	

隠岐の島町公民館運営審議会委員

(任期：H28.4.1～H30.3.31)

No.	氏名	住所	備考
1	田黒敏子	隠岐の島町港町	1号委員（社会教育関係者） ※任期：H29.2.1～H30.3.31
2	谷田一子	隠岐の島町西町	1号委員（社会教育関係者）
3	佐々木朗	隠岐の島町下西	1号委員（学校教育関係者） ※任期：H28.4.28～H30.3.31
4	松田照美	隠岐の島町港町	2号委員（家庭教育の向上に資する活動を行う者）
5	安部里子	隠岐の島町南方	2号委員（家庭教育の向上に資する活動を行う者）
6	池田真理香	隠岐の島町郡	3号委員（学識経験のある者）
7	山西吉美	隠岐の島町布施	3号委員（学識経験のある者）
8	村田正弘	隠岐の島町飯美	3号委員（学識経験のある者）
9	吉田耕三	隠岐の島町都万	3号委員（学識経験のある者）
10	村上順一	隠岐の島町那久	3号委員（学識経験のある者）

隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員

(任期：H28.5.1～H30.4.30)

No.	氏 名	所 属	備 考
1	高 梨 俊 夫	高梨医院院長（西郷小校医）	学校医代表
2	齋 藤 尚 文	都 万 小 学 校 長	学校代表
3	佐々木 隆	中 条 小 学 校 長	学校代表
4	室 山 美 恵 子	五 箇 中 学 校 長	学校代表
5	佐々木 淳一	磯小学校 P T A 代表	P T A 代表
6	白 川 広 明	中条小学校 P T A 代表	P T A 代表 ※任期：H29.6.1～H30.4.30
7	長 澤 英 夫	西郷南中学校 P T A 代表	P T A 代表 ※任期：H29.6.1～H30.4.30
8	宇 越 雄 一	北小学校 P T A 代表	P T A 代表 ※任期：H29.6.1～H30.4.30
9	渡 部 真 澄	隠岐の島町役場保健課	保健師代表
10	濱 典 子	北小学校養護教諭	養護教諭代表 ※任期：H29.6.1～H30.4.30

VI. 組織、予算等

A policy and an enterprise of education

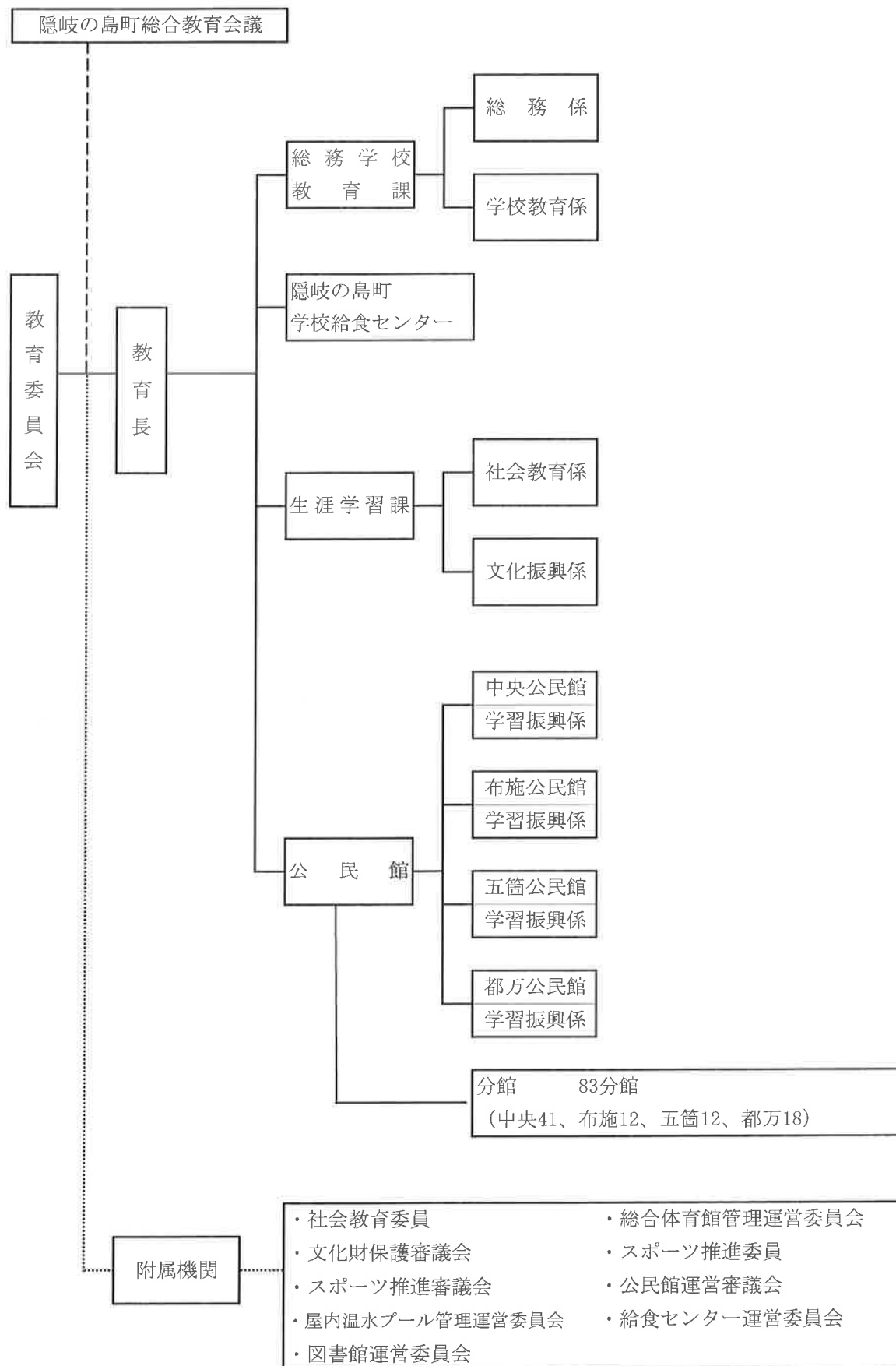
- 教育委員会機構図
- 小中学校一覧
- 児童、生徒数の推移
- 教育予算の概要



ジオパーク学習の様子

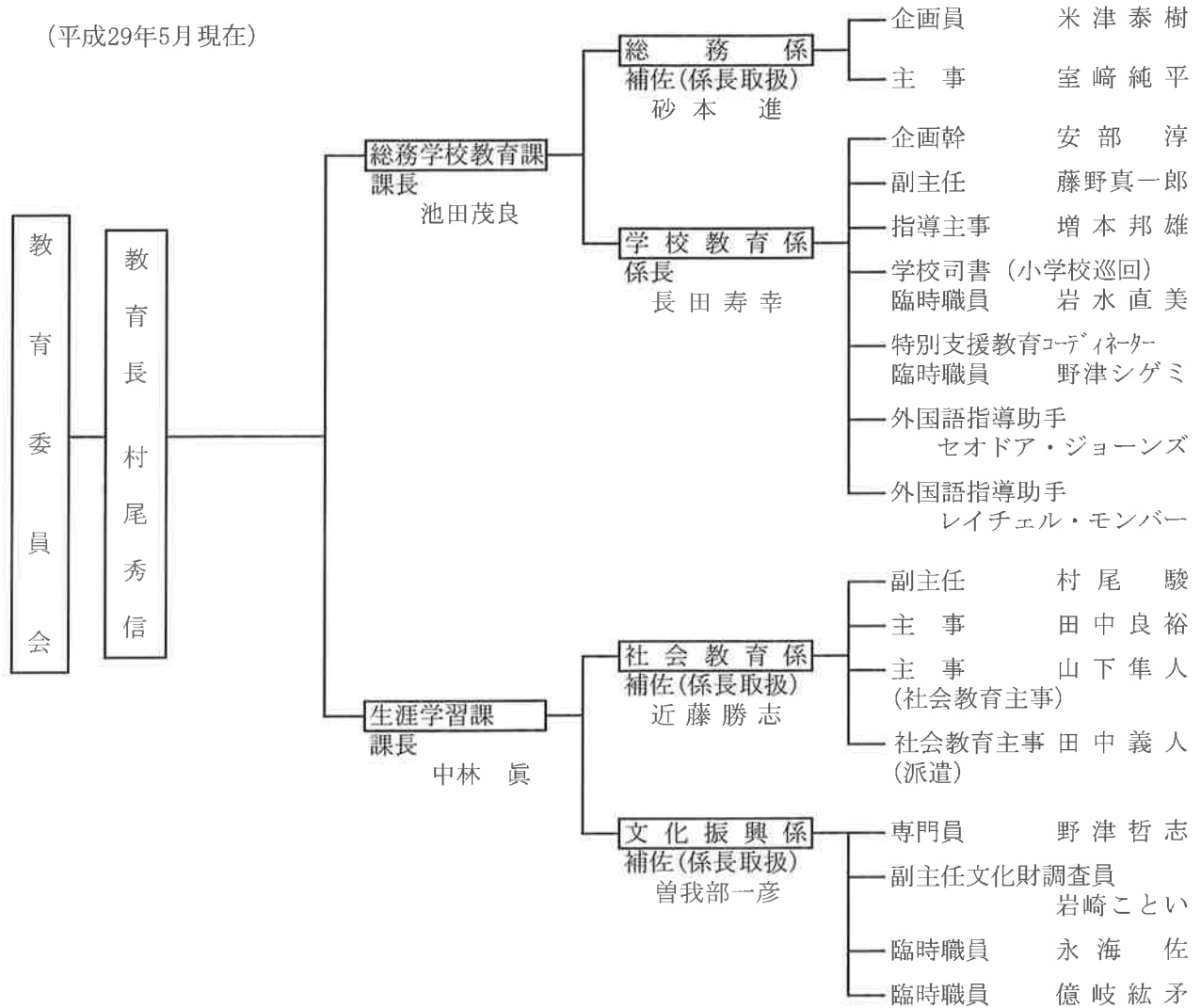
VI-1 隠岐の島町教育委員会機構図

(平成29年4月現在)



VI-2 隠岐の島町教育委員会職員配置図

(平成29年5月現在)



(隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会 駐在)
 課長 野辺一寛
 国際交流員 テレサ・サドカウスキ

<p>◎公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館 <ul style="list-style-type: none"> 館長 井上朋張 館長補佐 高平重也 企画員 森田健一 指導員(臨) 佐々木星 指導員(臨) 吉田千晴 布施公民館 <ul style="list-style-type: none"> 館長 中西賢一 指導員(臨) 佐藤久美子 五箇公民館 <ul style="list-style-type: none"> 館長 満田弘之 指導員(臨) 坂田弘子 指導員(臨) 石田 愛 都万公民館 <ul style="list-style-type: none"> 館長 村上静夫 指導員(臨) 梶村留美子 指導員(臨) 柳原美優希 <p>◎五箇生涯学習センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 所長 井上朋張 補佐(係長) 満田弘之 指導員(臨) 坂田弘子 指導員(臨) 石田 愛 	<p>◎学校給食センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 隠岐の島町学校給食センター <ul style="list-style-type: none"> 所長(兼) 池田茂良 所長補佐 日下祐志 栄養教諭 土中久美子 <p>◎学校施設管理員</p> <ul style="list-style-type: none"> 西郷小学校 (臨) 池田美紀 中条小学校 松岡幸代 有木小学校 高梨みゆき 磯小学校 山田智代 北小学校(臨) 松葉真由美 五箇小学校 藤野裕美 都万小学校 河田晶子 西郷中学校 高井信人 西郷南中学校 佃 博美 五箇中学校 吉山ちとせ 都万中学校 堀川和美 村上章子 	<p>◎教育支援センター「スマイル」</p> <ul style="list-style-type: none"> 主任支援員(臨) 脇田由紀子 支援員(臨) 若葉節子 支援員(臨) 岩室みゆき <p>◎学校司書</p> <ul style="list-style-type: none"> 西郷小学校(臨) 八幡 茜 西郷中学校(臨) 内山有莉香 西郷南中学校(臨) 加茂操代 五箇中学校(臨) 野田杏子 都万中学校(臨) 野村奈緒美 <p>◎高校魅力化コーディネーター</p> <ul style="list-style-type: none"> 隠岐高校 (臨) 若林寿子 隠岐高校 (臨) 野邊みなも 隠岐水産高校(臨) 秋好克則
---	---	--

VI-3 隠岐の島町学校給食施設状況

(平成29年5月1日現在)

		学校名	学級数	給食人員 (児童生徒数)	概 要	
隠岐の島町学校給食センター	小 学 校	西郷小学校	15	289	所在地	隠岐の島町栄町834番地
		中条小学校	5	47	開設年月	平成10年6月
		有木小学校	6	57	敷 地	956㎡
		磯 小学校	8	68	職員構成	所長1名(兼務)
		北 小学校	4	39		所長補佐1名
		五箇小学校	6	84		栄養教諭1名(兼職)
		都万小学校	8	70		
		小 計	52	654	運用方式	ドライシステム
	中 学 校	西郷中学校	8	151		
		西郷南中学校	8	124		
		五箇中学校	4	33	※アレルギーの内容により対応 が困難な児童生徒数	1名
		都万中学校	3	39		
		小 計	23	347		
	計		75	1,001		

VI - 4 小・中学校一覽表

所在地及び電話・ファックス番号

学校名	所在地	電話番号(08512)	F A X (08512)
西郷小学校	隠岐の島町西町大城の四3番地	2-0696	2-0447
中条小学校	隠岐の島町原田1445番地	2-0349	2-1402
有木小学校	隠岐の島町有木クラミ口21番地2	2-0784	2-8530
磯小学校	隠岐の島町下西1714番地1	2-0446	3-0056
北小学校	隠岐の島町中村1495番地1	4-0004	4-0025
五箇小学校	隠岐の島町郡67番地	5-2002	5-2857
都万小学校	隠岐の島町都万2362番地1	6-2005	6-2006
西郷中学校	隠岐の島町栄町488番地	2-0178	2-0724
西郷南中学校	隠岐の島町下西154番地2	2-0103	2-7302
五箇中学校	隠岐の島町郡162番地	5-2024	5-2359
都万中学校	隠岐の島町都万2533番地1	6-2170	6-3202

学級数及び児童生徒数・教職員数

(平成29年5月1日現在)

学校名	学級数 (特別支援)	児童 生徒数	教 職 員								計	備 考
			校 長	教 頭	教諭 ・ 講師	養護 教諭	栄養 職員	事務 職員	施 設 管理員			
西郷小	15 (3)	290	佐々木 朗	熊本直宏	21	1		2	2	28		
中条小	5 (1)	47	佐々木 隆	福本美由紀	6	1		1	1	11		
有木小	6	57	山根久美子	中西 直也	6	1		1	1	11		
磯小	8 (2)	68	平木伸幸	若本 剛	10	1		1	1	15		
北小	4	39	谷口 彰	櫻井正也	5	1		1	1	10		
五箇小	6	84	中西和志	谷田真也	7	1		1	1	12		
都万小	8 (2)	70	齋藤尚文	原 正嗣	9	1		1	1	14		
計	52 (9)	655	7	7	64	7		8	8	101		
西郷中	8 (2)	151	常角 敏	濱田 耕一	16	1	1	1	1	22		
西郷南中	8 (2)	124	山根 勝	浜中 直	13	1		1	1	18		
五箇中	4 (1)	33	室山美恵子	元上 治	7	1		1	1	12		
都万中	3	39	永海和幸	億岐 史人	6	1		1	1	11		
計	23 (5)	347	4	4	42	4	1	4	4	63		
合計	75 (14)	1,002	11	11	106	11	1	12	12	164		

※教職員数には、産休、育休代替講師及び非常勤講師は含まない

VI-6 平成29年度教育予算の概要

(予算額 単位：千円)

項	目	本年度		前年度	
		予算額	構成比	予算額	構成比
1. 教育総務費		209,450	20.4%	197,559	17.0%
	1. 教育委員会費	1,268	0.1%	1,302	0.1%
	2. 事務局費	132,901	13.0%	128,901	11.1%
	3. 教育指導費	75,281	7.3%	67,356	5.8%
2. 小学校費		183,174	17.9%	176,014	15.2%
	1. 学校管理費	110,299	10.8%	93,462	8.1%
	2. 教育振興費	25,079	2.4%	31,055	2.7%
	3. 学校施設費	47,796	4.7%	51,497	4.4%
3. 中学校費		124,425	12.1%	140,250	12.1%
	1. 学校管理費	75,726	7.4%	90,155	7.8%
	2. 教育振興費	44,468	4.3%	50,095	4.3%
	3. 学校施設費	4,231	0.4%	0	0.0%
4. 社会教育費		245,883	24.0%	238,582	20.6%
	1. 社会教育総務費	12,180	1.2%	17,645	1.5%
	2. 公民館費	77,864	7.6%	84,444	7.3%
	3. 社会教育施設管理運営費	126,742	12.4%	107,496	9.3%
	4. 文化財保護費	29,097	2.8%	28,997	2.5%
5. 保健体育費		262,971	25.6%	408,433	35.2%
	1. 保健体育総務費	13,656	1.3%	16,902	1.5%
	2. 体育施設費	40,605	4.0%	236,980	20.5%
	3. 給食センター費	208,710	20.3%	154,551	13.3%
合	計	1,025,903	100.0%	1,160,838	100.0%